

本シリーズでは、**警告・被警告から侵害訴訟までの実務ノウハウ**を、以下のような内容にて実際の経験（国内侵害訴訟経験約20件）も踏まえて概要を解説します。

具体的案件に適用する際には、最新動向も照らし合わせて専門家（弁護士・弁理士）にアドバイスを求めて下さい。

1. 特許を巡る攻防の流れ

攻撃側（権利者）および防御側（被疑侵害者側）が行うべき検討項目を時系列で概観します。



2. 攻撃側（権利者）の事前準備項目



3. 防御側（被疑侵害者側）の事前準備項目



4. 防御側（被疑侵害者側）の事後対応項目

警告書受領から回答書送付までの各種検討事項（短期で収集すべき情報、時間スケジュールの概要、など）を解説します。



5. 交渉段階での注意点

それぞれの立場での書面交渉と面談交渉での注意点を解説します。



6. 交渉段階での注意点

裁判所（第一審と第二審）、本案訴訟と仮処分、特許侵害訴訟全体の流れ、侵害論での心証開示、などを解説します。